

# 初心者講習会実施にあたっての手引き

## 目次

I. 手引きの作成にあたって	2
II. クラブにとって初心者講習会の重要性	3
III. 講習会を開催するにあたって	4
1. 公共機関との連携 自治体へのアピール	4
2. 講習会の広報の工夫	6
3. With コロナでの効果的なチラシ作成	7
4. 体験会の効果的な利用	9
5. スクエアダンスを知っていただく機会の作り方	11
IV. With コロナにおける初心者講習会プログラムの工夫	13
付録 ビギナー指導の心得	15



2021年12月

一般社団法人 日本スクエアダンス協会

編集：普及委員会

協力：技術委員会

## 1. 手引きの作成にあたって

人々の日常生活・健康・社会経済活動等に様々な制約を課した新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行は、SDの活動にも大きな影響を及ぼしました。

1万5千人を目前にしていたS協会員数は、高齢化の影響もあり2014年以降、漸減傾向になっていましたが、今回の新型コロナウイルス感染症の影響で、例会や初心者講習会が開けなかったことから新たな会員を迎えることができず、また例年以上の退会者があり、今年度の会員数は、前年度に比べ10数%とこれまでにない減となりました。

S協の中期行動計画では、体験会の実施や初心者講習会の開催により、SDの理解者、体験者、愛好者を増やすことを目標とし、現在進めている第3次計画では、全てのクラブが初心者講習会を実施することを目指していました。

S協では、SDの普及、S協の基盤整備の課題をまとめ、その中で、会員増につながる普及活動の一環として、初心者講習会の実施を重要課題に掲げました。

コロナ感染が一段落した後、初心者講習会が円滑に実施できるよう、広報の在り方、開催時の留意事項、効果的な実施方法などを含む「初心者講習会の実施にあたっての指針」について普及委員会を中心に、技術委員会や統括支部活動推進委員会等の協力を得て取りまとめました。

SDは、音楽に合わせて歩くことを基本に、ダンサーとコーラー、キューアーが共鳴しあって踊ることにより、楽しさと爽快さを共有できるスポーツです。競い合うのではなく、みんなが協力し、支え合うことにより、踊った後の達成感と連帯感を味わうことができます。各人の体調や希望に応じてSDを楽しむことにより、体も心も健康になり、新しい友人、仲間との繋がりを広げることができます。無理せず継続すると、上達する楽しみと喜びが生まれ、自ずと笑顔が生まれ、幸せを感じるようになります。このように多くのメリットをもつSDを広めていくことは、S協の使命であり、会員の皆様の生きがい、やりがい、そして誇りになることでしょう。

初心者講習会の実施には、クラブ全員による取り組み、クラブを超えた連携、S協の組織をあげたサポートが必要です。各クラブにおいて、「初心者講習会実施にあたっての指針」をご参考に、初心者講習会を計画・実施いただくようお願いいたします。

## II. クラブにとって初心者講習会の重要性

クラブが初心者講習会を開催することは、クラブ運営に取って大変重要なことです。会の存続に影響してきます。

初心者講習会を開催すること、開催しないこと、のメリット、デメリットを考えてみましょう。

### [開催することによってのクラブ運営への効果]

- ① 初心者講習会を開催することにより、会員が増加していきます。
- ② 新しい仲間を迎えることにより、新鮮な雰囲気は保たれ、クラブが生き生きと活性化していきます。
- ③ ビギナーを育てることにより、会員の意気が上がり、活動への充実感をもたらします
- ④ 安定したクラブ財政を維持し、クラブ事業を豊かに充実させることができます。
- ⑤ 新しい人材が増えることにより、役員会も活性化し、クラブの更なる発展と継続をもたらします。
- ⑥ 地域への呼びかけにより、スクエアダンスの認知度を高め、生涯学習団体として認識してもらうことができます。

### [開催しないことでのクラブへの負荷]

★2017年の高齢化への対応調査では70歳以上が49パーセント、そのうち8パーセントが80歳以上です。現在それから4年立っています。

★2021年度期初の会員登録数は約2300人の減になっており、前年への登録者と比べ83パーセントに減少しています

- ① 会員の高齢化に伴う退会は、今後さらに加速され、会員が減少していきます。
- ② 会員が減っていくことで、クラブ運営や例会の活気が落ち込んでいきます。  
例えば、
  - 今まで2セットで踊れたのが1セットになる。
  - コーラーがいなくなり、他のクラブに応援を頼む。
  - 今まで開催できたアニバーサリーが開催できなくなる。
- ③ 会員の減少により、会費収入も減少していきます。クラブ活動の事業予算が減り、行事に制約が出てきます。
- ④ 会員の活動への意欲が落ち込み、クラブ閉会の危機を持たらします。

生き生きとしたクラブの活動を維持していくためには、どうしても仲間を増やしていく初心者講習会の開催が大事になります。

募集しても集まらないとあきらめず、自分たちのクラブの環境に沿った工夫をしながら、是非講習会の開催にチャレンジしていきましょう。

### Ⅲ. 講習会を開催するにあたって

#### 1. 公共機関との連携 自治体へのアピール

##### (1) 現状認識（世間はダンスをどう認識しているか）

- \* 現状は世間のダンス全般に対する捉え方は、ダンスを趣味としてやっている人たちとは全く異なっていることを十分認識しておくことが重要です。
- \* 一般認識は、① ソーシャルディスタンスが取れない；② 手をつなぐ等の直接接がある；③ 室内で長時間実施しているなど、危ない活動に見えると認識されています。
- \* 我々SD 愛好者の中にも、一日も早くダンスをしたいと思っている人たちがいる一方で、感染により生命の危険があるので、ワクチン接種ができてでもブレークスルー感染も報道されていて、安心できないと思っている人たちもいます。世間一般のダンスに対する認識は、後者のエリアにいる人たちが多数と考えます。
- \* 特に公共機関、自治体は、公（おおよけ）の機関として「感染者、クラスターを出してはならない」立場にあるため、使用条件がどうしても厳しくなる傾向があります。
- \* 従って公共機関、自治体との接点として会場が公共施設、自治体関係施設であるクラブが、コロナ禍（緊急事態宣言、まん延防止法適用時）に感じているのは、「ダンスはコロナ感染可能性の高い活動」と認識されて「使用禁止」になっている事実が存在しています。

##### (2) 現状を踏まえた公共機関との連携、自治体へのアピール

##### <With コロナ時>

- \* 世間の一般的理解として、SD を含むダンスがコロナ感染上「危険な活動」と認識されている現状下において最も重要なことは、「十分な感染対策を講じている安全、安心な活動」であることを公共機関、自治体にしっかり理解してもらい、「危険な活動」イメージを払拭することだと思います。

そのため、下記具体策が必要です。

- ① 感染防止対策を十分講じているので感染の危険が無い活動であることのアピール。
  - 具体的感染防止対策を講じていることを説明できるチェック表の作成が必要です。
  - 例：S協で初心者講習会（含む 例会）における感染防止対策チェック表を作成し、各クラブがダウンロード、プリントアウトして、公共機関、自治体との交渉、打合せ時に使えるようにすることが必要です。
- ② コロナ感染対策をS協ガイドとして発信（2020年7月）した後、例会が原因で感染した感染例が「ゼロ」であることを数値で説明できるように資料準備が必要です。

例：全国で約 500 クラブ中、例会を行っている約 250 クラブが日本全国 47 都道府県で 2020 年 7 月以降、1 年間数ヵ月にわたりコロナ感染防止に努めて活動して来た結果、感染例は「ゼロ」、クラスターも「ゼロ」です。

都道府県別でもデータがあると、大都市圏で多数のクラブが活動しているにも関わらず感染者が出ていない「安全、安心な活動」であることを理解してもらえます。

- \* 初心者講習会（含む 例会）やその他の活動で公共機関、自治体に関係する施設、会場を使用する際に、上記①、②を準備して公共機関、自治体に SD が「十分な感染対策を講じている安全、安心な活動」であることをアピールして、SD 活動が可能な環境作りをすることから始めるべきと考えます。

### <After コロナ時>

- \* ワクチン他医薬品が潤沢に供給され、医療体制にも不安がなくなり、コロナがインフルエンザ同様の一般認識になった際には、下記対応を開始できると思います。  
（基本的な感染予防は継続することになると思いますが。）
- \* コロナ禍が長期化したため、誰もが「身体を動かしたい」あるいは「人とコミュニケーションを取りたい」というニーズが増幅して来ているので、初心者講習会の再開には追い風になると思います。
- \* このようにコロナ状況が顕著に改善して来れば、公共機関、自治体への初心者講習会開催のアプローチが歓迎される条件が整って来ると思います。

#### ・公共機関へのアプローチ

- \* 地方のケーブル TV やラジオ局にスクエアダンスを紹介してもらうことを提案してみてもいかがでしょうか。

地方のケーブル TV やラジオ局は「それぞれの地元ネタ」を常に探しているので、歓迎してくれる場合があります。

具体的には、それぞれの地元のケーブル情報をウェブで探して「地元ネタ」として持ち掛けてみると、無料で公共の電波でスクエアダンスと初心者講習会の両方を紹介できる場合があります。

例：東京都府中市の場合

「J：COM 府中」TV 番組「まるごと府中」（地元紹介番組）

毎日の午前 9 時、正午、午後 8 時（15 分番組）

#### ・自治体へのアプローチ

- \* 自治体（市町村民活動支援関連部署）に自クラブを市町村公認団体として登録してみることから始めてはいかがでしょうか。

- \* クラブで利用している例会場が市町村の施設であれば、市町村主催の催し情報が入って、デモダンス等でスクエアダンスを紹介できる機会をもらえる場合もあり、その際に初心者講習会のチラシを準備しておけば、初心者をお誘いできる可能性も広がります。
- \* また、自治体発行の広報新聞等に初心者講習の宣伝を掲載してもらえる可能性も出てきます。

## 2. 講習会の広報の工夫

広告で使用する効果的な情報は、お誘いする対象者により変化します。

以下の広報ツールの種類と対象者ごとに効果的なツールを使用することで効果的な広報ができます。

### 【広報ツールの種類】

- ・ 口コミ … 継続率は高いが説明が難しく人数も限られる  
     対策：SNS 等で紹介できるように見て楽しさが理解できる電子媒体の広報コンテンツ充実
- ・ 紙のチラシ … 即効性は無いが手元に残り始めたい時に再確認できる  
     対策：見やすくいつでも参加できるようなチラシを地域クラブが一体となり宣伝できるチラシの工夫
- ・ マスコミ … 影響力は大きいが一時的でチャンス、コスパが悪い  
     対策：効果が高くコスパが良い過去事例を共有
- ・ インターネット … ターゲットを絞って知ってもらえる可能性が高い  
     対策：統括支部 HP 担当者と協業で各クラブの HP 掲載率（簡易 HP 含む）と検索ヒット率向上の施策

特に SNS、HP 等インターネットを活用した広報は、世間でも効果が高く様々な手法が研究されているため、講習お誘いの期待が高い。

### 【対象ごとの効果的な具体例と視点】

#### < 青少年 >

インターネットの活用、教育機関へのアピール、マスコミの活用

（具体例） ・ インターネット広告の活用検討（SNS、リスティング広告等）

- ・ 大学サークルへのお出張講習
- ・ 小中学校での地域活動体験コミュニティーへの参加
- ・ フリーのテレビ取材募集活用

（視点） ・ ネット／マスコミツールは、青少年の視覚を刺激しアプローチ効果が高く閲覧の可能性向上が期待できる

#### < 中堅世代 >

インターネットの活用、企業のサークルへのおアピール、口コミ

- (具体例) ・ 検索されやすいHPの充実を図り、体験したい意識を刺激  
 ・ 大学時代にSD/FDを体験したOBOGに対してダイレクトメールを送り楽しかった学生時代の体験を蘇えらせて活動再開を促す。  
 ・ 企業内の社員が企業サークル立ち上げを検討  
 ・ 上司、部下とのコミュニケーション向上を目的にSDサークルへ誘う
- (視点) ・ 多忙な立場の方が多いため、仕事と趣味の両立ができる環境及び定年退職後の趣味を創りたいと思う意識を刺激する  
 または、過去の実体験を基にした楽しい思い出の再現で、今置かれている環境でも頑張れる活力を引き出す

#### <主婦>

口コミ、インターネット活用、紙のチラシ

- (具体例) ・ 各クラブでもLine、メール等で紹介しやすいような電子コンテンツの充実（チラシとか紹介映像、HP等）  
 ・ 運動不足解消／無理しなくてダイエット／友達ができる等をアピール
- (視点) ・ 主婦層は、同じような目線・興味をもって主婦同士のコミュニケーションを図っているので、クラブの主婦会員が楽しいと思えるクラブ活動（次回も来なくなる例会等）を心がける事で自分と似た主婦を誘ってくれる。

#### <中高年>

紙のチラシ

- (具体例) ・ 公共機関でのポスター／チラシの設置  
 ・ 地区のコミュニティー誌／新聞チラシ等に掲載
- (視点) ・ 仲間同士が誘って来るケースと一人で黙々とできることを探して趣味を探すケースがあり、どちらの方もネットに疎い方が多いので、いつでも気にせず入ってチラシを持って行けるとところに広報媒体を置くことで宣伝効果を期待

### 3. With コロナでの効果的なチラシ作成

チラシを配る対象（ターゲット）を明確にするため、現状を考えてみますと、

- ・ 長く続いたコロナ感染対策による自粛（巣ごもり）生活（Stay Home）からの日常生活への復帰（そろそろ外に出たい、人とのふれあいが欲しい、運動不足を解消し固まった身体のリフレッシュ、など）への想いが強いと感じられます。
- ・ 再開を後押しするには、これらに加え「安全・安心」の担保が求められています。

こうした点を考慮した具体的なアピール情報を盛り込む必要があります。

- ・ チラシの構成として、

【タイトル＋興味を引くキャッチフレーズ】：初心者講習会、無料体験会、一日体験会

- 楽しい・たのしい／和気あいあいとした／仲間と楽しみませんか
- 新しいお友達との出会い、お友達との再開の喜びが待っています
- 明るい（元気な）あなたの笑顔をお待ちしています
- 巣ごもりだった身体をほぐし、楽しく歩いて足腰を鍛えよう
- やさしい！楽しい！健康的！幸福度アップ！音楽に合わせて歩きます
- 聞いて、歩いて、ちょっと頭を使ってリフレッシュ
- 軽快なリズムに乗って、パズルを解くように聞いて動きます
- ダンスというより身体を使ったワクワクするゲームです
- うまくいったら・・・イエーイ（笑顔）、いかなくても・・・アハハ（笑）
- アメリカから世界中に発信され、子供から大人まで楽しんでいきます

**【詳細情報】**：開催日時、会場、会費、持ち物、安心・安全対策、など

- 会場全体（例会）の雰囲気、クラブの雰囲気（笑顔いっぱい）が判るような写真・イラストでアピール
- 安全・安心対策（会場での換気、手指消毒、マスク着用等）の徹底

**【必須情報】**：主催クラブ名、問い合わせ・申し込み連絡先

- 一般社団法人日本スクエアダンス協会の加盟団体
- QRコードで（S協HP、楽しい雰囲気の例会映像へ）リンク

#### <一般的なチラシ作成のポイントとして>

- ・配色、文字の大きさの工夫でメリハリをつける  
（掲示する場合と配布するケースに分けて、文字サイズ・デザインを変更）
  - ・読んで欲しい部分の文字は大きく、太字で
  - ・人目を引きやすくする鮮やかな色使い（黄色、オレンジ、赤など）
- などを考えて作成されると良いと思います。

※S協HP掲載の「チラシデザインコンテスト入賞作品」も活用できます。

[http://www.squaredance.or.jp/jimu/Leaflet/leaflet%20design%20contest\\_link.pdf](http://www.squaredance.or.jp/jimu/Leaflet/leaflet%20design%20contest_link.pdf)





## 4. 体験会の効果的な利用

### 1) 体験会とは

1時間から半日程度の限られた時間の中で、その場に集まっている不特定多数の方を対象に、SD の紹介と簡単な動作だけで踊ってもらい、SD の楽しさを知ってもらうことが目的です。

### 2) 体験会の計画と準備

体験会は、単独で開催するというより自治体や公民館などの祭りや、大学・高校の文化祭・体育祭、小中学校の PTA 活動など、各地域で開催されているイベントの一つの企画に参加して実施することが望ましく、エントリーできる可能性があるイベントをまず調べるのが先決です。

開催が決まったら、参加するイベントの規模、参加者層や人数、体験会に使える時間や行う会場の広さや電源関係、さらに必要な音響機材などを確認しておきます。また、体験会の指導者やサポートしていただくエンジェルの手配も必要です。

### 3) 体験会の実施

指導者はやはりコーラーにお願いすることが必要ですが、どうしてもコーラーの手配ができない場合は、TAIKEN プログラムの音源を使ってモデルダンサーに踊っていただき、一般の方に見ていただくことが可能です。また、普及サポーターが手配できる場合は、TAIKEN プログラムを使って一般の方にダンスを体験していただくことが可能になります。

当日のプログラムは、大きくは、① デモダンスの見学 (SD を見ていただく)、② 簡単な動作の講習 (体験していただく)、③ 講習した動作で踊る (楽しさを体験していただく) の3つに分けられます。時間配分が重要なので、事前にプログラム・スケジュールを十分検討し計画しておくことが必要です。

### 4) 体験会を終えてから

体験会を終えた時に、その場でアンケートに記入してもらうことが大切です。アンケートでは、SD を体験した感想はもちろんのこと、他の人にも勧めたいかどうかや連絡先を記入しておいてもらいましょう。後日、知り合いを誘って初心者講習会に参加してもらうよう案内を行うなどのフォロー活動が重要です。

### 5) 体験会を普及活動につなげる

体験会開催の活動を通じて、多くの人に SD と SD の楽しさを知っていただくことが最も重要です。SD の楽しさを体験していただいた方が、初心者講習会に参加、そして新たな愛好者となっていただくという普及活動の一環として、体験会の開催に積極的に取り組み、効果的に活用していただきたいと思います。

回答者氏名： \_\_\_\_\_

## スクエアダンス体験プログラム アンケート（体験者用）

本日は、スクエアダンス体験会へのご参加、誠にありがとうございました。

つきましては、今後の参考にさせていただきたく、以下のアンケートをお願い申し上げます。

### ■体験者へのご質問（番号に○を付けてください）

1.初めてスクエアダンスを体験したご感想は、いかがでしょうか？

①楽しかった      ②まあまあ      ③ふつう      ④あまり      ⑤つまらない

--	--	--	--	--

2.コーラー(指導者)による動作の説明は、いかがでしたか？

①わかりやすい      ②まあまあ      ③ふつう      ④あまり      ⑤わからない・難しい

--	--	--	--	--

3.音楽はいかがでしたか？

①楽しい曲だった      ②まあまあ      ③ふつう      ④あまり楽しくなかった      ⑤わからない

--	--	--	--	--

4.ほかの人・お友達に今日の経験をお話しますか？

①楽しかったことを      ②話をして      ③機会があれば      ④特には      ⑤つまらなかったと  
積極的に話したい      次の機会に誘いたい      話をする      話題にしない      話をするぐらい

--	--	--	--	--

5.お差し支えなければ年齢をお教えてください

①～20代      ②30代      ③40代      ④50代      ⑤60代～

--	--	--	--	--

6.ご感想・ご意見、何でも結構ですので、お書きください。

また、もう少し経験してみたいと思う方には、連絡先をご記入いただければ、ご連絡させていただきます。

(受付でご記入済みの方は、必要ありません)

こちらからご連絡させていただいてもよろしいでしょうか …… はい ・ いいえ
連絡先： メールアドレス、電話番号、住所 など

ご協力、誠にありがとうございました

2022年 月 日

## 5. スクエアダンスを知っていただく機会の作り方

スクエアダンスの普及発展の第一歩として「スクエアダンスとはどんなものか」を幅広く知って頂く事が重要と考えます。その方法の一部をご紹介します。

### 5-1 スクエアダンスの宣伝（スクエアダンスとはどんなダンスかを知ってもらう）

#### ① テレビ番組・ケーブルテレビ番組に出演し宣伝する

テレビ視聴者は減少傾向にあると言われていたからこそ、テレビ局は視聴者が関心を持ちそうな企画を待ち望んでいます。テレビ放送されればスクエアダンスを知ってもらう効果は絶大といえます。それでは、こちらからテレビ取材されるには、どんな方法があるのでしょうか。

##### (1) テレビ番組の企画に応募する

「取材依頼書」を作ってテレビ局の番組宛てに郵送することが必要です。

\*企画書にタイトルフレーズと、感心を引きそうな写真4~5枚を盛り込む

（これは良い映像が撮れそうだと担当者に一瞬でイメージさせる写真を選ぶ）

\*企画書の内容は、質の高い情報コンテンツ（視聴者にとってメリットがある情報）であることをアピールすることが必要となります。

\*企画書はA4サイズ1枚程度で納めると良いでしょう。

##### (2) ケーブルテレビの企画に応募する

ケーブルテレビのホームページによっては「取材申し込み」の箇所があり、そこからメールにより申し込みが可能です。

テレビ番組と同様に質の高いコンテンツでアピールすれば確率はさらに上がるでしょう。

ホームページ上で申し込みできない場合は、テレビ番組同様に郵送で申し込むこととなります。

##### (3) 送り先（郵送先）はどこ？

\*インターネットで調べる事が難しい場合は、書店やアマゾンで「広報・マスコミハンドブック」等が販売されていますので、それらを利用すると良いでしょう。

\*番組を指定して送る事が鉄則

テレビ局御中で送ると思惑の番組に届かない可能性が出てきます。

#### ② 新聞、雑誌に「初心者講習会」や「SD体験会」の広告

広告サイズ、地域や新聞社によって価格が異なりますが、印刷費と別に“折込み料+配送料”が必要となり、A4で1枚5円前後が必要となります。

インターネットで「折込み広告」「新聞社名」もしくは「地域名」を入れて検索すると、該当地域の情報がヒットするでしょう。

#### ③ SNSに掲載

\*ハッシュタグを多用して検索エンジンにヒットさせる工夫

SNS上で記号の#を入れたキーワードを見かけたことがあると思いますが、この#（ハッシュマーク）が“ハッシュタグ”と呼ばれているものです。ハッシュタグの

後に特定のキーワードを付与することで投稿がタグ化されます。タグ化されることによって同じキーワードでの投稿を瞬時に検索できたり、趣味・関心の似たユーザー同士で話題を共有したりすることが可能です。

#### ④ Web 上でコマーシャル（リスティング広告）

ユーザーがネット上で検索したキーワードに応じて検索結果画面の上や下に表示される広告を「リスティング広告」と呼びます。興味を持って検索した人に直接アプローチできるメリットがあります。

#### ⑤ 県・市・区・町など地方公共団体のイベントに出演

現在、コロナの影響で地方公共団体のイベントは、ことごとく中止となっていますが、コロナ禍収束後は、積極的に参加し、スクエアダンスをアピールすることをお勧めします。出演する際はスクエアダンス県連の宣伝チラシや初心者体験会などのチラシをお忘れなく。

### 5-2 初心者講習会（ビギナーズクラス）やSD体験会を積極的に開催し宣伝する！

#### ① 公共施設所定の総合広告

区の施設や公民館へ問い合わせ、各々総合折込みチラシがあれば、是非それらに掲載しましょう。また、それらの施設に初心者講習会のチラシを置かせてもらえると良いでしょう。

#### ② 新聞の折り込みチラシ

配布枚数で価格が変わりますし、全国紙と地方紙によっても価格は異なります。

料金は地域によって大きな違いがあるため、自分が配布する地域の料金相場を正しく把握することが大切です。地域ごとの折込チラシの料金は、検索サイトで「地域名、折込みチラシ 料金」と入れて検索すると自分の地域の料金をすぐに調べることができます。

#### ③ 各クラブでスクエアダンス体験会を開催

\*初心者体験会（ケーキパーティーなど）を開催

毎年「スクエアダンスの初心者体験会があるので来てください」と言っても、コンスタントに人を集めることは厳しいかもしれません。一つの方法として、“ケーキパーティー”という名目で体験会を開催しては如何でしょうか？「ケーキを食べに来ませんか？」とクラブ会員からケーキパーティー券を配布してもらい、参加者人数を事前確認しておき、人数分のケーキを用意し、コーヒーとケーキで体験会を開催するのです。

何も知らない体験者を十分に楽しませ、また来ようと思わせる時間を作ることが重要です。

以上、スクエアダンスを知って頂く機会の作り方として幾つか紹介しました。スクエアダンス普及発展の第一歩として活用して頂くと嬉しく思います。

#### IV. With コロナにおける初心者講習会プログラムの工夫

初心者講習会には日常生活を共にしていない人同士が集まり、一定の時間を過ごしますので、新型コロナが収束していない段階では、主催者とビギナーの双方にとって一定の感染リスクがあることを理解しておく必要があります。

「例会の再開に当たっての留意点」（2020年6月3日）およびその補足説明（2020年9月9日、2021年11月16日）を参考に、徹底した感染防止策を行ない、安全で、安心して楽しめる講習会が実現できるよう皆で知恵を出し合ひましょう。

- 1 発熱や風邪の症状があるなど、体調が思わしくない方は出席しないよう周知徹底しましょう。
  - 2 密集状態にならない十分な広さで、天井が高く、換気ができる会場を使用するようにしましょう。
  - 3 ビギナーと会員に安心して参加していただけるよう、講習会における感染防止策を丁寧に説明しましょう。
    - 1) 講習会における感染防止策を説明する資料を作成して参加者全員に配布してください。会場内に掲示するのも効果的です。
    - 2) 手から手への接触感染はほとんどないことを理解していただき、直接手を繋いで踊ることへの不安を和らげてください。
- （接触感染予防の基本は、手についたウイルスを口や鼻、目から取り込まないことです。ウイルスは健康な皮膚には侵入できず、表面に付着するだけと言われてしますので、手から感染することはありません。従って、直接手を繋いで踊っても、ダンス中に顔などに手を触れず、1チップごとに手指消毒すれば感染リスクはほとんどありません。  
（但し、手荒れや傷がある時は、この限りではありません。十分注意してください。）
- 4 万が一に備え、ビギナー名簿を作成して参加者全員の連絡先が把握できるようにしましょう。（個人情報のため取り扱いには十分注意してください）

##### 《会場設営》

- 1 会場の共用部分（机・椅子・ドアノブ・窓枠等）を消毒してください。
- 2 手指消毒ができるよう、会場内や入り口に消毒液を設置してください。短時間に一斉に消毒することが多いため、密にならないよう複数個所に設置してください。
- 3 コーラーから2m以上離れてセットが作れるような設営をしてください。ダンサーとの間に透明なビニールカーテン等を設けても良いでしょう。
- 4 出席者の体温チェックができるよう受付に非接触型体温計等を備えてください。
- 5 休憩用の椅子はフィジカル・ディスタンスを考慮して1m程度離して並べます。
- 6 スナックコーナーの設置は当面見合わせ、飲料水は各自で持参いただきます。
- 7 サーキュレーター等を使用するときは、換気効率が最も良い場所に設置してください。

##### 《プログラム》

- 1 主催するクラブ等のメンバー一同が、ビギナーへの声掛けを積極的に行なってください。（マスク越しでも笑顔は十分に伝わります。）
- 2 ダンス中のマスク着用と1チップ毎の手指消毒を徹底してください。（マスクは飛沫飛散抑制効果が高い不織布マスクを推奨します）

- 3 コーラーやキューアー、インストラクターはマスクを着用して指導してください。
- 4 マスク着用による身体的負荷に配慮し、且つ濃厚接触とならないよう、1チップの時間は10分程度としてください。ラウンドダンスやラインダンスも同様です。
- 5 チップの間は長めの休憩時間（5分程度）をとり、手指消毒や換気ができるよう配慮してください。
- 6 シンギング・コールでは、当面、ダンス・ポジションでのスウィングを控えて、両手回りなどで代用してください。
- 7 S協が紹介しているビギナーレベルのラインダンスを積極的に取り入れてみてください。他の人と全く接触しないダンスなので、初めて参加されたビギナーも抵抗なく踊れると思います。
- 8 ラウンドダンスは、パートナーと組んで踊ることへの不安を和らげる工夫をしてください。
  - 1) 比較的密着度が少ないポジションとフィギュアを中心に指導してください。
  - 2) シングル・サークルでも、工夫すれば沢山のフィギュアが指導できます。
  - 3) ワルツ曲やトゥーステップ曲については、比較的密着度が少ない振付のものを選んで指導してください。
  - 4) ルンバはフェイズⅢですが、離れて踊ることが多いため簡単な振付なら実施できそうです。
- 9 ワークショップ・タイムが休憩を挟んで短時間で小刻みになるため、講習の進み具合が遅くなります。ゆとりがある指導カリキュラムを作成してください。
  - 1) スクエアダンスは、1チップで指導するベーシックの数を抑えてください。
  - 2) ラウンドダンスは、1回に指導するフィギュアの数を抑えてください。
  - 3) ラインダンスは、短時間に指導できるカウント数の少ない曲を選んでください。
- 10 スクエアダンス、ラウンドダンス、ラインダンスの効果的な指導方法については、S協が発行している技術資料を参考にしてください。

#### 【S協出版物】

「ベーシック ダンスプログラム 動作の定義」	1,000 円（送料別）
「TAIKEN プログラム（オーディオ教材と解説書）」	1,500 円（送料別）
「Roundalab Manuals（ラウンドラブ マニュアル）」	1,000 円（送料別）

#### 【S協ホームページに掲載】（ダウンロードしてご活用ください）

- 「ビギナー指導マニュアル<スクエアダンス編>」 <<QRコード 1>>
- 「ラウンドダンス指導入門<15のフィギュアで指導する>」 <<QRコード 2>>
- 「MODULAR CUEING（ラウンドダンス指導入門・モジュール集）」 <<QRコード 3>>
- 「カントリー・ラインダンス指導マニュアル」 <<QRコード 4>>

※S協事務局にて印刷サービスも承っています。価格はページ数によっても異なりますので、ご希望の方は事務局に直接お問合せ下さい。

☎03-6240-6560 E-mail:squaredance@giga.ocn.ne.jp



<<QRコード 1>>



<<QRコード 2>>



<<QRコード 3>>



<<QRコード 4>>

## ビギナー指導の心得

- 1 ダンスを教えることは、ビギナーにとってはダンスを教わること、覚えること  
一生懸命教えても成果が出ないときは、自分の教え方がビギナーにとって適切か否か  
検証する必要があります。ダンスを全く知らない人には理解できない言葉を使ってい  
るかもしれません。
- 2 ダンスの楽しさを伝えることがもっとも重要  
ダンスの正しい踊り方を教えることは大切ですが、ビギナークラスではそれが全てで  
はありません。いかにして笑顔にさせるか、歓声を上げさせるか、自信を持たせるか  
に腐心すべきです。ダンスが楽しくなければビギナーは次の週から出て来ないでしょう。
- 3 毎週が勝負  
毎週良い雰囲気ビギナークラスが終了できるよう、講習カリキュラムやプログラム  
を工夫すべきです。「しばらく我慢すればそのうち楽しくなりますよ。」と言っている  
と、そのうちビギナーが一人減り二人減りするかもしれません。
- 4 繰り返し踊ることが大切  
ビギナーは反復練習により反射的にダンスを覚えます。資料を読んで踊りをマスター  
できる人は極めてまれでしょう。確実に覚えて欲しいければ反復練習の回数を増やすこ  
とです。
- 5 覚えるスピードは十人十色  
すぐに覚えられる人と、何十回も繰り返さないと覚えられない人がいるのは厳然たる  
事実です。ビギナークラスでは覚えなければならないことがたくさんあり、その指導  
の速度について行けない人の脱落が常に懸念されます。急ぎ過ぎは禁物であることを  
肝に銘じましょう。また、自分はダメだと思っているビギナーを励ますことも大切な  
仕事です。クラブの中心メンバーの多くはビギナー時代に劣等生(?) だった大器晩  
成型なのです。
- 6 エンジェルも受講生  
高齢のビギナーが多くなり、習得するために要する時間が長くなっています。エンジ  
ェルとして参加している前回、前々回の卒業生にとっては復習する絶好の機会となり  
ます。指導する際は彼らを十分に意識する必要があります。
- 7 ビギナークラスにおいて、コーラーは常に注目される存在  
綺麗な服装は勿論のこと、明朗で節度ある言葉遣いを心がけ、ビギナーから好感を  
持たれる人物にならなければなりません。
- 8 明瞭で大きな声で教える  
ダンス用の音響機器が発達し、声を張り上げる場面は少なくなりましたが、呟くような  
声ではビギナーに伝わりません。適切な声量は自信を持って教えている証にもなります。
- 9 ビギナーの名前をできるだけ早く覚える  
コーラーから、親しみを込めて自分の名前を呼ばれて嬉しくないビギナーはいません。  
人の名前を覚えることの得手不得手はありますが、ビギナーに喜んでもらえるよう頑  
張って覚えましょう。ただし、間違いを指摘するときは名前を呼ばない方が良いと思  
います。

## 10 「分かりますか」は禁句

「分かりますか?」と聞かれて「分かりません」と答えられるビギナーは少ないでしょう。踊れているか否か、笑っているか落ち込んでいるか、元気一杯か疲れているか、コーラーボックスから離れているセットは大丈夫か、ビギナーの状況を常に把握することが大切です。教えたことがビギナーに伝わっているか知りたければ、もう一度踊らせて自分の目で確認しましょう。

## 11 やって見せる

口で説明するだけでなく、モデルダンサーで手本を見せたり、コーラーが相手役になって一緒に組んで踊って見せるとビギナーの理解を大いに助けます。そのためにも、コーラーが適宜フロアーに降りることができる会場設営にしましょう。

## 12 とにかく踊らせる

動作の説明はポイントを押さえ、できるだけ短くすませることが大切です。長々と懇切丁寧に説明してもビギナーの頭にはほとんど入っていないことが多いのです。身体で覚えさせましょう。

## 13 集中攻撃してはならない

誰にでも不得手な動作があり、それができないからといって何度も教えられたりするとますますパニックに陥るものです。さらっと切り上げることも時として必要です。今後、何回も繰り返し踊るうちに克服できるでしょう。

## 14 指導者は一人しかいない

ワークショップの最中に、エンジェルがビギナーを個人指導していることがあります。コーラーはこの親切に甘んじてはなりません。そのような場面を目撃したら、自分の説明がビギナーにとって不十分であったと判断し、もう一度説明し直すか、教え方を変えてみる必要があります。

## 15 常に準備を

CALLERLAB のプログラムリストや動作の定義など、指導に関する最新の情報を入手する努力をしましょう。ビギナーが自宅学習できるような資料を配布することも大切です。コーラーとビギナーが、お互いに良い準備をして毎週のビギナークラスに臨めば、素晴らしい成果が期待できます。

「ビギナー指導マニュアル<スクエアダンス編>」より

発行	：	2021年12月19日
編集	：	一般社団法人 日本スクエアダンス協会 普及委員会
		委員長 中村 禮子
		委員 荒木 義昭 沖吉 和祐 島田 秀幸 鈴木 孝子
		玉置 勝巳 半田 啓二 百合嶋 学
協力	：	一般社団法人 日本スクエアダンス協会 技術委員会